

南条後家尼御前御返事

文永一一年七月二六日 五三歳

鷺^が目^{もく}十^連・か^河の^苔り^二帖[・]しゃ^臺う^たかう^{二十}束^給び^候ひ^了ん^ぬ。

か^鎌ま^倉くら^{にて}かり^そめ^の御^事と^こそ^をも^ひま^いら^せ候^ひし^に、^をも^ひわ^すれ^させ^給は^り
ざ^りけ^る事^申す^ばか^りな^し。こ^故う^上へ^のど^野の^殿だ^にも^をは^せし^かば、^つね^に申^しう^け給^はり
な^んと^なげ^きを^もひ^候つ^るに、^をん^かた^みに^御み^をわ^かく^して^とゞ^めを^かれ^ける^か。す^が
た^のた^がわ^せ給^はぬ^に、^御心^さえ^にら^れけ^る事^いう^ばか^りな^し。法^華經^にて^仏に^なら^せ
給^ひて^候と^うけ^給は^りて、^御は^かに^まい^りて^候ひ^しな^り。又^この^御心^ざし^申す^ばか^りな^し。
し。今^年の^けか^ちに^はじ^めた^る山^中に、^木の^もと^にこ^のは^うち^しき^たる^やう^なる^すみ^か、
を^もひ^やら^せ給^へ。こ^のほ^どよ^み候^御經^の一^分を^この^へ廻^向し^まい^らせ^候。あ^われ^人
は^よき^子は^もつ^べか^りけ^るも^のか^なと、^なみ^だか^きあ^えず^こそ^候へ。^妙莊^嚴王^は二^子
に^みち^びか^る。か^の王^は悪^人な^り。こ^うえ^のど^のは^善人^なり。か^れに^はに^るべ^くも^なし。
南^無妙^法蓮^華經、南^無妙^法蓮^華經。

七月二十六日

日 蓮 花 押

御 返 事